西尾市教育委員会が取り組む多文化共生教育体制の概要図（きめ細やかな教育の推進）

多様性が輝く共生のまちづくりの礎のために

参考資料　2022.4

就学前児童

★多文化ルーム KIBOU（きぼう）による**プレスクール**（社会福祉法人に委託）

対象：公私立の保育園・幼稚園に在園または不就園の外国にルーツをもつ就学前児童（次年度に新１年生になる児童）のうち、語彙会話調査等の結果を踏まえて、プレスクール受講が必要と思われる児童

内容：日本の小学校に円滑に就学できるよう言語面・生活面・学習面からの個別指導を各園を巡回して行う。

◆令和３年度受講園児数 10 人・親子プレスクール参加数 42 組

業務委託（＝★）

→ **④公立学校**または**⑤不就学**　へ

小学生

①転入 → ②市民課窓口で**就学案内** → **③外国人学校**へ就学 → 経済的事情等により退校 → **⑤不就学**

→ **④公立学校**へ就学

パターン１）日本語の日常会話が少しできる児童生徒の場合

◎校区の小中学校へ通学…日本語教育が必要な児童生徒数 **685** 人（2022.5）
→該当校に日本語教室の指導教員や外国人児童生徒教育担当者を配置。通常学級・日本語教室・日本語初期指導教室カラフルを巡回する**日本語教育指導支援員 14 人**（ポルトガル語・フィリピノ語・スペイン語・ベトナム語・中国語・インドネシア語・英語）は日本語教育が必要な**児童生徒の日本語指導や授業寄添いの他に保護者対応（通訳・翻訳）を担う。**

パターン２）日本の学校での就学経験がなく、**日本語が理解できない**児童生徒の場合

日本語初期指導教室カラフル（プレクラス）（鶴城小学校内）
来日直後等の児童生徒を対象に学籍のある学校に定期的に通いながら最長３か月、学校生活に必要な基本的生活習慣、日本語指導や教科学習の導入などを行う。
➡日本語教育指導アドバイザー兼日本語初期指導教室長（１人）が日本語教育指導支援員のマネジメントを行うとともに日本語教育指導力向上のための多方面な研修も実施
◆令和３年度通室児童生徒数５１人

カラフルYouTube公式チャンネルから情報発信

⑥不登校（不就学）

◎適応指導教室（あゆみ学級にしお・いっしき）

連携

★多文化ルーム KIBOU（社会福祉法人委託）

連携

★子ども・若者総合相談センターコンパス（2021.6 開設）（一般社団法人委託）

連携

学校教育課窓口に**外国人児童生徒教育相談員**を配置（1人）

連携

⑤不就学（外国籍児童生徒は就学義務無）

カラフル・KIBOU 兼務職員配置（人材育成）

連携

★多文化ルームＫＩＢＯＵによる**不就園不就学児童生徒支援**（社会福祉法人に委託）
外国にルーツをもつ子ども（５～15 歳）のうち、不就学、不就園状態である子どもに対して就学・登校・学習支援を市が社会福祉法人に委託して公共施設で行っている西尾市教育委員会独自の取組み。
●時間　火～金：午前９時 30 分～午後７時 30 分　土・日：午前９時～午後４時 30 分
●教室　不就学クラス・不就園５歳児プレスクール←毎年７月の不就学・不就園調査で把握した児童が対象
◆令和３年度不就学不就園調査対象数 96 人➡不就園児数７人・不就学児童生徒数６人

委託契約

中学生

過年齢

④公立学校へ就学している児童生徒の放課後日本語指導・母語支援など　※過年齢・保護者向け支援も実施

★多文化ルームＫＩＢＯＵによる**多様な多文化共生教育支援**（社会福祉法人に委託）
①小中学生夕方日本語クラス　②16～18 歳の日本語学習者（過年齢クラス）　③母語保持教室（ポルトガル語・中国語・ベトナム語）　④保護者向け日本語教室　⑤多言語サポート（ポルトガル語・タガログ語・インドネシア語・中国語・ベトナム語）　⑥就学説明会　⑦オンライン日本語教室あいうえお 240
◆令和３年度教育支援児童生徒数 248 人　・就学説明会参加者数 35 組

過去最高の利用数

KIBOU YouTube公式チャンネルから情報発信

KIBOU のスタッフ 10 人（ブラジル・ベトナム・中国・フィリピン・インドネシア・日本）のうち１人がカラフルと兼務勤務

児童生徒の動き

◎県立一色高校定時制
６割が外国ルーツ

連携

官学連携による大学生ボランティア主体のマルチ・カルチャー・キャンプ in 佐久島の開催を準備中

西尾市教育委員会（学校教育課・生涯学習課）

児童生徒の動き

5年間で 1.7 倍

連携

進路説明会（年１回）

外国人児童生徒教育担当者会（年４回）

主催

DLA（対話型アセスメント）導入

日本語教員配置、進路説明会等主催、日本語教育指導支援員・日本語教育指導アドバイザー兼日本語初期指導教室室長・外国人児童生徒教育相談員を雇用配置

相談助言

多文化共生教育スーパーバイザー
東京外国語大学 小島祥美准教授

日本語教育指導スーパーバイザー
大阪大学大学院 櫻井千穂准教授

委嘱